

【議案第 59 号】

令和 2 年度浜田市一般会計補正予算（第 5 号）

議案第 59 号 令和 2 年度浜田市一般会計補正予算（第 5 号）に対し、賛成討論を行います。

この補正予算は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に係る国の補正予算関連事業 6 事業、3 億 8,599 万 5 千円、新型コロナウイルス感染症対策として浜田市独自の単独事業 15 事業 5 億 87 万 4 千円からなる、総額 8 億 2,932 万 5 千円の規模です。

この結果、浜田市独自の市民への支援策は、5 月臨時会議と 6 月定例会議の 5 億 7,400 万円と合わせ、10 億円を超える規模となります。国の緊急事態宣言の発令による営業中止や外出自粛要請、移動制限、小中学校の一斉休校など、未曾有の危機となり、第二次世界大戦後最大の世界的危機の中にあると言われる浜田市民に対し、県内他の市町村だけに限らず、全国の地方自治体を凌駕する、その独自政策の素早い対応と事業規模に対し、浜田市執行部の皆さんの発想力と市民の立場に立った想像力に基づいて提案された事業に対し、私は心からの敬意を表するものです。

今回の補正予算の、新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少している中小企業者と個人事業者に対しての応援給付金の支給は、法人 300 事業者に対し 40 万円、200 の個人事業者に対し 20 万円の給付金を支給するものであり、1 億 6,403 万円が計上されています。また、水産加工事業者と鮮魚仲買事業者に対し 4 千万円の応援給付金が計上されています。素晴らしい市民支援策であると考えます。

また、インフルエンザ予防接種費用助成事業として、1 億 8,228 万 7 千円が計上されています。冬に向かっての新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、インフルエンザの流行を最小限に抑えることで、医療現場の混乱を最小限に抑えるために、全市民に対しインフルエンザの予防接種費用を助成するこの政策は、想像力に富んだ大変見事な政策であります。これにより、2 回接種を受けなければならない小学生までの児童を除けば、おおよそ千円の負担で予防接種が受けられることとなり、医療現場の混乱を回避することに役立つことは、必定であります。

また、当初 9 月定例会議で提案するとされていた、オンライン教育推進を見据えた児童生徒 1 人 1 台タブレット端末整備事業 2 億 2,311 万 5 千円が、今 7 月臨時会議に提案されました。9 月定例会議の可決であれば、全国の他の自治体と注文が重なり、結果として児童生徒の手元に届くのが 1 年後になるやも知れず、その恐れを回避した今臨時会議への提案は、大変見事と言わなければなりません。

繰り返しますが、新型コロナウイルス感染症対策に対する対応は、前例のない未知のものであったことを考えれば、国の 10 万円の特別給付金の市民への迅速な支払いとい

令和2年7月臨時会議 澁谷 幹雄議員 賛成討論

い、浜田市の対応は見事なものである、と考えます。

しかし、浜田市は、ここで立ち止まって、もう一度熟考するべき時に直面しているとも考えます。

なぜなら、今回のこの補正予算の説明資料に、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る予算処置の状況」という、特筆すべき資料が添付されています。

内容は、浜田市の10億円を超える市独自の支援策のうち、すでに7億円は国からの交付金が手当てされ財源振替がなされているという点です。

結果として、国からの新型コロナウイルス対策地方創生臨時交付金は、第1弾が2億6千万円、第2弾が8億6千万円となり、合わせて11億2千万円に及びます。すなわち、ふるさと基金と財政調整基金を取り崩して実施された、浜田市独自の事業の財源全てが、その浜田市の先見性ゆえに国の追随することとなって、浜田市の負担はゼロとなるということでもあります。

ということは、9月定例会議において、さらなる市民救済策の追加事業に対しての財源手当てが可能であるということではないでしょうか？

すなわち、浜田市は、臨時特別給付金として1万円しか配られていない子育て世帯への大幅な追加支援や給食費の減免、プレミアム付はまだ飲食・宿泊チケットのさらなる増刷と利用期限の延長と利用範囲の拡大、中小事業者と個人事業者への追加支援、支社や支店も含めた家賃補助の拡大、神楽団体やNPO法人への運営費の補助、さらには市県民税や固定資産税、水道料金、国民健康保険料の減免、などの追加支援が可能となったのであります。

使わなければならないと覚悟していた財源が戻ってくる以上、9月定例会議において、さらなる浜田市独自の市民支援策の追加が上程されなければならないこと、すなわち浜田市は、市民の幸福の実現に向けてその責任と義務を負っていることを強く申し添えたいと思います。

また、予算決算委員会において、議会の権能を否定する発言が執行部からあったことはゆゆしきことであります。言論の府である議会において、軽率な発言が飛び出すことがないように、緊張感を持って対応していただきたいと思います。基本的には、議会や議員に対する最低限の敬意が執行部に欠如していると言わなければなりません。

以上、このことを強く申し添え、私の賛成討論といたします。